

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 ぎふNPO・生涯学習プラザ事業運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民生活課 NPO・宗教法人係 電話番号：058-272-1111 (内 2387)

E-mail：c11261@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 12,172 千円 (前年度予算額：12,184 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	12,184	0	0	0	0	0	0	0	12,184
要求額	12,172	0	0	0	0	0	0	0	12,172
決定額	12,172	0	0	0	0	0	0	0	12,172

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

NPO活動に参加意欲を有する県民等に対して、様々な相談への対応、各種NPO情報の提供、県民とNPOとの交流や連携への支援等を行うとともに、NPO法人の組織基盤強化への支援等を行う。

(2) 事業内容

- ・各種相談業務 (NPO活動への参加に関する相談、法人設立・運営相談、ボランティア活動希望者の仲介等)
- ・NPOとの交流・連携の場の提供 (交流、連携、情報交換)
- ・各種NPO情報の収集、提供、発信
- ・NPO活動紹介ブースの提供
- ・NPO人材の確保・マッチングへの支援
- ・NPO法人の組織基盤強化等を支援する事業
- ・同一の担当者による継続的な相談支援体制とすることが、相談者が安心して相談できる環境づくりとなり相談者の利益となることから委託期間は3年間とする。

令和2年4月1日から令和5年3月31日までの長期継続契約

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
委託料（予算）	12,184千円	12,172千円	12,172千円
委託料（契約額）	12,172千円	12,172千円	12,172千円

（3）県負担・補助率の考え方

NPO・ボランティア活動支援の中核拠点として、県負担により事業を実施する。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	12,172	各種相談業務、プラザの管理運営業務、NPO法人の組織基盤強化等のためのセミナー・意見交換会の開催
合計	12,172	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】

1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

（2）誰もが活躍できる社会

④ 若者から高齢者まで年齢に関わらず活躍できる社会の確立

（2）国・他県の状況

全都道府県中、NPO支援拠点の多くは、公設により運営されており、民設であっても補助金等の財源を活用している施設が多い。

（3）後年度の財政負担

利用者数の推移を見ながら事業の継続性について検証する。

（4）事業主体及びその妥当性

県の県民生活関連機関が連携し、一体となって運営するためには、県が事業主体となることが妥当である。

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
地域の多様な主体・組織が参画し、地域づくりを担っていくことができる新たな組織の設立支援とともに、設立後の組織基盤強化支援にも注力する。
地域づくりを担うNPO法人の設立や運営に関する相談を行う。
NPO法人が自らの情報を発信するための場、機会を提供する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
プラザ来訪者数 (年間)	— (H)	11,535 (H29)	11,640 (H30)	11,358 (H31)	13,000 (R4)	87.4%

○指標を設定することができない場合の理由

--

(前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
各種相談業務（NPO活動への参加に関する相談、法人設立・運営相談、生涯学習に関する相談、ボランティア活動希望者の仲介等）
NPO活動紹介ブースの提供
組織基盤強化事業（セミナー・意見交換会8回開催、122人参加）

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
県内のNPO法人数は年々増加し、平成18年度末には440法人であったものが令和2年7月末現在では749法人に増加している。
法人の設立や財政基盤の脆弱な法人が運営を継続するための運営相談、NPO法人の活動を紹介する情報発信などを通して、「ぎふNPO・生涯学習プラザ」の果たす役割は大きく、NPO活動支援の拠点施設として機能している。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	県内NPO・ボランティア活動支援の中核的拠点として重要な機能を果たしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	来訪者、相談件数とも毎年多数あり、情報発信、相談の場としての機能を果たしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	平成18年度の開設以来、開設時間の見直し、業務内容の見直しを行い、効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 コロナ渦の中で活動に支障を来たす法人への相談体制、情報提供体制の整備が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか NPO法人に対する環境支援、県民とNPOとの交流への支援のほか、法人運営を充実させるため、引き続ききめ細やかな支援の強化を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	生涯学習情報提供費 【環境生活政策課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	ぎふNPO・生涯学習プラザの事業受託者に、生涯学習情報提供に係るホームページ管理も一体で委託することで、プラザ利用者に対する生涯学習情報提供に関し、効果的な情報提供体制を構築できる。